

まちづくり会報

平成28年4月発行 No.10
宮前まちづくり協議会 事務局

飯高中学校開校

3月25日飯高西中・東中学校が閉校し、4月6日飯高中学校が開校しました。
生徒数は、1年生22名（内香肌小卒業生4名、転入生1名）、2年生24名（内飯高西中校区より3名）、3年生27名（同11名）で全校生徒数は73名となりました。“融和”“信頼”“創造”を初年度のスローガンとして、飯高西中、飯高東中の伝統と校風を継承しながら飯高中学校として新たな歴史を刻んでいきます。

同日、宮前小学校でも入学式が行われました。21名が入学、全校児童84名となり、1年生が一番多い学年となりました。



幸せの黄色いレシートキャンペーン (ミセススマート粥見店)

毎月11日に行われている『幸せの黄色いレシートキャンペーン』。宮前まちづくり協議会はミセススマート粥見店にボックスを設けています。このキャンペーンによる1%の寄贈（後期6か月分商品券を今回は赤鉛筆とお菓子に交換）を、やまなみ保育園の卒園記念品として卒園児19名に届けました。



サイクリングコース看板設置

飯高駅いいたかの湯入口横と、飯高茶屋入り口横にサイクリングコース案内看板を設置しました。この看板は、27年度松阪市地域の元気応援事業で審査員特別賞を受賞した賞金10万円を活用したものです。珍布峠ウォーキングコースは徐々に認知されつつある中で、その他の観光資源である荒滝不動尊やつつじの里、下滝野栢原不動尊等まで足を延ばしていただくよう今後はサイクリング事業にも力を入れていきたいと考えています。



福祉部（福祉会）活動報告

皆さまから頂きました福祉基金（香典返し等）より、27年度に助成させていただきました事業について報告させていただきます。

1. やまなみ保育園保護者会活動支援（プール用テント購入補助）
2. 宮前小学校（1～3年生対象）夏休み社会見学（高齢者とのふれあい事業・鳥羽水族館見学）
3. 宮前小学校（4年生）土曜授業の一環として地域の特産であるおいしいお茶の淹れ方
4. 宮前小学校（5年生）土曜授業の一環として地域の人に学ぶお茶のお点前
5. 飯高東中学校（全校生徒対象）相可高校（村林新吾先生）の料理教室
6. 飯高東中学校閉校に伴う記念冊子の作成助成
7. 赤桶、宮前両公民館文化祭参加幼児・児童の参加賞

上記の様な、保育園・小学校・中学校の、園児・児童・生徒に係る事業、行事に助成させていただきました。何れも助成させていただいた皆さまから喜びの声をいただいています。

その他にも福祉部の活動としましては、社会福祉協議会飯高支所、赤桶・宮前両公民館と連携して、やまなみ保育園年長児、宮前小学校6年生児童対象の卒園・卒業記念陶芸作品制作等何年も続けている行事もあります。

小規模園、小規模校という地域の課題を利点と捉え、人間形成に一番大切な時期である幼少期から本物と向き合い、日本の文化である陶芸やお茶を体験し、中学校では世界に通用する料理を学ぶことにより豊かな国際感覚を身につけ、世界で活躍できる人材育成の一翼を、保育園・学校と連携して担える福祉活動を目指しています。

これからも変わらぬご支援、ご指導を頂きますようお願いいたします。

福祉部長 向坂 文一



飯高駅からのお知らせ

第7回『珍布峠を歩いてみよう』キャンペーン開催中

飯高駅では、5月8日まで『珍布峠を歩いてみよう』キャンペーンを開催しています。珍布峠ウォーキングコースは、国分け伝説の史跡を巡るルート。“地域おこし”ともなっている風光明媚なこのコースを歩いてクイズに答えれば、特産品などの賞品が抽選で当たります。キャンペーンの詳細については、飯高駅のホームページをご覧ください。

GW恒例 いいたかの湯『オリジナルタオルプレゼント』

期間： 5月 3・4・5日

※4日は水曜ですが、飯高駅は全施設通常通り営業します。
飯高駅内「いいたかの湯」では、ゴールデンウィーク期間中の3日間、恒例となった「オリジナルタオルプレゼント」を行います。実施は、5月3・4・5日の3日間。各日先着500名様に限り、いいたかの湯のネームが入ったタオルをプレゼントします。新緑の美しい風景を眺めながら、いいたかの湯に入ってみませんか。

